宇都宮市立宝木小学校 第４学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

〇良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

〇「学校の宿題は，自分のためになっている」の肯定割合は95.4%と高く，県よりも1.4ポイント高い。「勉強していて，おもしろい，楽しいと思うことがある」の肯定割合は78%。「学習して身に付けたことは，将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」の肯定回答も94.5%ととても高い。学習が自分のためになることを自覚している児童が多いことが分かる。前向きな学習意欲を大切にし，学びが実生活に活用できるような指導を続けていきたい。
◯「自分はクラスの人の役に立っていると思う」の肯定割合が69.7%で県の平均より4.3ポイント上回っていた。また，「自分にはよいところがあると思う」の肯定割合が80.8%と県の平均とほぼ同じ結果であった。自分のよさを周りから認められることで，友達のよさにも目を向けられるようになると考える。児童が自分のよさを発揮できるような役割や場を与えて自己肯定感を高めていくとともに，お互いのよさを大切にできるような学級づくりに努めていく。
●「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」の肯定割合が66.9%に対し，県平均は76.3%であった。また，「授業では，クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」の肯定割合が74.3%に対し，県平均は84.3%であった。このことから，話し合いの活動経験の場を多く設ける必要性がある。児童が主体的に話し合いに参加できるよう，話し合いをする際は必然性のあるテーマ設定にする。言語活動の充実が図れるよう，互いの言葉のやり取りができる指導や声掛けを繰り返し行っていく。
●「ふだん（月～金曜），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。」の質問では，「4時間以上」視聴している割合が県平均より5.1ポイント上回っており，ゲーム時間がとても長いことが分かる。一方で，「学校の授業時間以外に，ふだん（月～金曜），1日当たりどれくらいの時間，勉強しますか」の質問では，30分以上1時間未満勉強している割合が，県平均より13.4ポイント下回った。「早寝，早起きを心がけている」の回答においても，肯定的回答が11.7ポイント下回る。本校では，4年生は50分以上の家庭学習時間を推奨しているが，この結果から，家庭学習の習慣が定着していない様子がうかがえる。宝木小「家庭学習の進め方」を活用し，宿題に加えて自主学習を行う習慣を身に付けていけるようにする。学習内容の参考になる児童のノートの例を掲示して家庭学習に対する意識を高めていきたい。合わせて，生活リズムについての意識を高められるよう，保護者と連携して指導していきたい。